

事業所名		児童発達支援　ピース				支援プログラム（参考様式）		作成日		6	年	12	月	1	日
法人（事業所）理念		障害児とその家族に対し、充実した地域生活を送るために必要な福祉サービスを提供することで、全ての人が健やかに暮らせる社会の実現と、福祉の推進に寄与することを目的とし運営しています。													
支援方針		障害のあるなしに関わらずこどもたちの個性を伸ばし、一人ひとりが自分らしく生きていける力を身につける事を大切にしています。また働くスタッフも子ども達のお手本になるよう、自分にあった働き方を見つけ自分らしく働けるような環境作りを大切にしています。													
営業時間			9	時	00	分から	11	時	00	分まで	送迎実施の有無		あり　なし		
		支　援　内　容													
本人支援	健康・生活	季節に応じた衣類の調整、水分補給など、基本的な生活スキルの獲得を狙います。また時間に応じた行動の切り替えや遊んだ後の遊具の片付けや声掛けのサポートをしています。													
	運動・感覚	自由に自分のやりたいことを思いっきりしてもらいながら個性をたくさん伸ばしてほしいと思っています。そのために、思いっきり身体を動かしたり、ボール遊びやトランポリン、ブランコができるグラウンドから、タブレット利用など子どもたちにたくさんの選択肢が提供できる環境を準備しています。そうした環境の中で子どもたちの自己実現に寄り添い認める事を繰り返しながら成長を手助けし個性を伸ばしていきたいと考えています。													
	認知・行動	ブロックを使用した創作活動、タブレットを利用したリズム体操、外での遊びを通して、認知の発達と行動の習得と空間・時間・数等を折り紙、塗り絵、マッチングカード、積み木などを用いて習得を目指します。													
	言語 コミュニケーション	クイズ、なぞなぞなど言葉を使ったゲーム、ごっこ遊び、かるた、ボードゲームを通して言語の形成と活用、コミュニケーションの基礎的能力の向上を目指します。また活動の中で言語を表出する機会作りをします。													
	人間関係 社会性	時間を守る、片付けをする、集中力を持続させる、最後までやりとげる…。初めて私たちのもとを訪れる子どもたちはそれらが苦手ですが、自然に近い環境下での日々の積み重ねによって、少しずつ成長していきます。自由な環境だからこそルールは必要です。しっかりとルールを決めて好きなことをコントロールする力を身につける事を大切にしています。人との繋がりが・集団生活の大切さも学んでもらい、人との助け合いや相手を認めることの大切さを知ることの必要性について学んでもらいます。													
家族支援		随時、個別面談を行い、保護者の悩みを打ち明けられる場所を作ります。							移行支援		将来を見越した、活動の取入れと社会との交流活動を実施します。				
地域支援・地域連携		学校との連携（不登校支援を含む）を活発に行います。 自立支援協議会の参加 防災訓練							職員の質の向上		虐待防止、身体拘束等のスキルアップの研修を行い職員の資質向上につなげます。 発達支援や資格取得に関わる研修を行います。				
主な行事等		公園外出や季節にちなんだイベントを行います。													